

うの立志祭でした。自分てきに大きな声でも言えたい、よいしせいでもできたので、大せいこうだと思いましたが。なので、今日の立志祭は、こうかいのないように出来たと思いましたが。なぜかという、毎日日本番にむけて、がんばって練習してきたからです。練習したかいがあったなと思います。

あと、この勉強で、とうじゅ先生の事や、昔の北小学校の事を色いろしてうれしかったです。ずっとずっと楽しみにしていたので、もうおわっちゃうと考えると、とても悲しいしもう一回したい気持ちでいっぱいです。でも、この三年生の立志祭の思い出をわすれずにいたいと思います。

青柳小学校

立志祭に参加して

江阪 秀羽樹

ぼくは立志祭で「孝行」の話と、藤樹先生がお母さんと周りの人を大切にしていた話を聞きました。藤樹先生は周りの人を大切にしたこと、周りの人からも大切にされました。それを聞いてぼくも家族や友だちを大切にしようと思いました。

会場の公民館では、久しぶりに会う友だちがいてうれしくなりまし

た。みんなで仲よく藤樹カルタも楽しむことができて、とてもよい立志祭になりました。

立志祭に参加して

北川 結理

私が一番思い出に残っていることは、「私の志」をみんなの前で発表したことです。たくさん練習した成果を出すことができて、落ち着いて発表することができました。

私は、藤樹先生の教えの中で「五事を正す」の、貌言視聴思の教えが一番心に残っています。特に「思（思いやりのある心）」を大切にしている人になりたいです。

マキノ東小学校

立志祭を終えて

磯野 音羽

わたしは、とうじゅ先生のお話を聞いて知行合一のことや致良知のことなどわかりました。とうじゅ先生が少年のころとつり県の米子や、えひめ県の大洲などいろんなところへ勉強しに行つて、りっぱな人になったこともわかりました。

志の発表の時、わたしは、みんなにもちゃんとゆめがあるんだと思いました。とうじゅカルタの時はどうじゅ先生の子どもの時から大人に

なつてとうじゅ先生にあったことがカルタをして学べました。

これからは、にがてなことなどいろんなことにちょうせんしていききたいです。

立志祭を終えて

藤沢 希子

藤樹先生は、一六〇八年（けいちよう十三年）三月七日に生まれました。なので三月七日にちかいときに、立志祭をするそうです。

藤樹先生は、おもいやりのある、やさしさがある、人のことをかんがえる、とってもえらい先生です。志のはっ表は、きんちようして、石みたいに体がかたまつてしまつて、こえが力チ力チなきがしました。わたしなりにがんばつたと思います。

藤樹カルタで、一番おぼえたのが、㊦です。「ゆめにみた ふるさとめざす ゆきの旅」を一番におぼえました。ほかにもごんおぼえていきたいです。

わたしも藤樹先生みたいに心やさしい人になりたいです。そのために、これから、いろいろな人やこまつている人をたすけたり、なにかをしてあげたり、人がよろこぶことをして、みんなのえがおをみてみたいです。



立志祭を終えて

平山 大喜

とうじゅ先生のお話を聞いたり、DVDを見たりして、とうじゅ先生はすぐくえらくてかしこい人なのだと、分かりました。とうじゅ先生は、だれにでもやさしくてみんなから信ようされている人なのだと分かりました。

志の発表をして、ちよつとだけはずかしかったけど、ちゃんと言ってよかったです。でも、早口で言つてしまつて、お母さんに笑われました。でも、ぼくはちゃんと、見に来てくれた人たちに伝わったと思いました。

とうじゅカルタをして、すごく楽しかったです。さいしよは、ゆづきさんのお母さんがいっぱい取つていて、ぼくは全ぜん取れていなかったけど、と中から、いっぱい取れて嬉しかったです。全部で十七まいで勝てました。とうじゅカルタはすごく楽しかったです。

今日の志でも発表したように、野球せん手になることがぼくのしょう来のゆめなので、これから野球をがんばっていききたいです。家でも野球の練習をいっぱいしているの、野球が大好きだからもっと上手になりたいです。